

挿^さ画^しの^え世界

中川一政



《椿》Camellias 1963年

中川一政が冬から春先にかけて描いた画題に椿があります。アトリエの冬の庭先に咲く数椿を好み、自ら愛用に壺に挿し、あるいは文筥や柿などと取り合わせ、油彩や岩彩など手法を替えて幾たびも描いています。

本館では、こうした椿作品や季節の画題や書を中心に公開します。

別館においては、中川一政が昭和初期から携わった連載小説の挿画に注目し、その代表作の一つ、「石田三成」（尾崎士郎著 昭和13年 都新聞夕刊連載）を特集します。油絵の制作と変わらぬ情熱で日々取り組んだ挿画は、連載小説の人気を牽引すると共に、当時の日本の挿画の地位を高めることになりました。小説家との気合を楽しみながら描いた一政の挿画の世界を紹介します。

2018.12.4(火)
- 2019.2.24(日)

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日(12/24・1/14・2/11(月・祝)開館、12/25・1/15・2/12(火)休館)
年末年始(12/29~1/3)

入館料 大人200円 高校生100円(20名以上の団体は半額)
中学生以下及び障がい者手帳をご提示の方とその介護者1名は無料

白山市立松任中川一政記念美術館

〒924-0888 石川県白山市旭町61-1 電話 076-275-7532 (北陸新幹線金沢駅からJR北陸線で10分 松任駅南口横)

Closed : on Mondays. Access : 1 min. on foot from JR Matto Sta. South Exit. (10 min. on JR Hokuriku Line from JR Kanazawa Station to JR Matto Station.)



上から《石田三成 9.1.20》
ISHIDA Mitsunari 1938年